



## 「世界」に読む大野病院事件

投稿者 日本医療総合研究所 取締役社長 中村十念

いよいよ8月20日(水)に「福島県立大野病院事件」の判決が下される。それを前に今月8日発売の雑誌「世界」(岩波書店)に当会の幹事でもある日本医科大学・澤倫太郎講師の「県立大野病院事件から見てくること」～医療への刑事司法介入は何を招くか～と題する論考が掲載された。

小見出しを紹介すると次の通りである。

福島県立大野病院事件とは何か

事故調査委員会の二面性

なぜ医師は逮捕されなければならなかったのか？

医療界からの多声

捜査当局のシナリオ

高次施設でも救命は困難

医療プロセスをどのように評価するのか

わかりにくい届出制度

問われる事故調査委員会のあり方

医療刑事事件、起訴されれば有罪か？

2007年1月に開始された裁判の判決を前に、大野病院事件を俯瞰しておくには絶好の教材である。皆さんにご一読をお勧めする。